



広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

令和8年5月27日

May 27, 2026

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

6月園だより



向き合い、取り入れる過程へ

園長 河合 晴美

今年は、昨年よりも早くユスラウメの実が赤くなり、たわわに実りました。また、アジサイの花も咲き始め、淡い色に色付いてきました。5月は、戸外で伸び伸びと遊ぶ中で、自然とのかかわりで発見したことも多く、子どもたちの喜びや驚きからの笑顔がたくさん見られました。先日は、親子活動や幼稚園参観などでお子さんの様子をご覧いただき、ありがとうございました。学級の中で、少しずつ自分のペースで動いていく様子も知ることができたと思います。

さて、5月中旬から水遊びが始まるまでの期間は、遊びが充実できる期間として考えています。時間を十分に設定し、自分を表し始めた子どもたちが試したり、繰り返したりすることができるようにしています。

3歳児りんご組は、生活の流れが分かり動いていく中で、使いたいものや(粘土やブロック等)設定された場を選び遊ぶようになりました。小さな手を動かし粘土を丸めること、砂をいろいろな容器に入れてみることなど、自分でかかわることでの手ごたえを楽しんでいます。

4歳児ばら組は、毎日虫取り用の網を持ち、虫探しを繰り返しています。へびとってしまうミズや子どもたちをかわしていくチョウ等に出会う中で、ダンゴムシのいるところは予想がついてきました。このような出来事を学級で話し、共有することでみんなも出合った生き物として親しみがもてるようにしています。

5歳児さくら組は、園庭の草花や実を使い色水をつくっています。すり鉢や茶こし、スプーンや泡立て棒等、いろいろな用具と水の加減を考え、一人ひとりが異なる色水をつくっています。周囲にいる友達の動きも言葉も大きな刺激となる中で、自分なりに向き合いながら様々な要素が絡み合い、取り入れていく過程を経験しています。

幼児教育は、環境を通して行う教育を基本としています。幼児が直接的・具体的な体験の中でその子なりの「見方・考え方」を働かせて対象と向き合っていきます。そして、その子なりのペースで試行錯誤を繰り返し、生活の中に活かしていく「学び」となっていきます。小さなこだわりも、周囲の様々な情報も、どのように取り入れていくかを見守りながら、ゆったりとした時間の流れの中で幼児が思う存分向き合う時間と機会を保障したいと思っています。そして、そこからまた、新たな発見が生まれてくることを楽しみに、ドラマチックと思える毎日を展開しています。



<砂場での遊び ... それぞれの学年の楽しみ方が動きに表れています>